

主な論点：リーディングプロジェクトの視点

①：子育てにやさしいまちづくり ②：学びの環境で選ばれるまちづくり

- 子どもの出生数が減少していることから、子育て世帯や子どもの育ちを支える取組が求められています。
- 子育て世帯の経済的、精神的負担の軽減を図り、子育て中の方が安心していきいきと子育てできるまちづくりや、子どもが将来の目標や夢を育める学びの環境づくりを進めていく必要があります。

③：いきいきと健康に暮らせるまちづくり

- 今後高齢化がさらに進む中で、いきいきと健康に暮らすことのできる環境の整備や支援の充実が求められています。また、一人一人が自らの健康を大切に、健康寿命の延伸を図っていく必要があります。

④：にぎわいと活力のあるまちづくり

- 本市が全国第 3 位の件数を有する国指定の文化財や祭礼行事などの歴史・文化遺産、琵琶湖をはじめとする豊かな地域資源を活用し、にぎわいと活力のあるまちづくりを進めていく必要があります。

⑤：安心して住み続けられるまちづくり

- 激甚化、頻発化する地震や局地的な豪雨といった脅威に対し、市民・地域・まちの防災力を高めるとともに、災害に対応できる社会基盤が必要となります。
- 地域コミュニティの希薄化から、これまでのような地域活動を継続・維持することが難しくなっています。防犯や防災の観点からも、地域コミュニティの維持と活性化が必要になります。

施策横断の視点①：GX の推進

- 令和 2 年に国は 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。
- 本市においても「ゼロカーボンシティ」宣言を行っており、実現を目指した取組の推進が求められています。

施策横断の視点②：DX の推進

- 誰もがデジタル技術の恩恵を受けながら、豊かな生活を実現できる社会を目指し、本市においてもデジタル化を進める必要があります。
- デジタル化を進める上で、デジタル機器に不慣れな人でも利用しやすい環境を整備し、デジタルデバイドを解消する必要があります。

ご意見いただきたい事項

- 委員の皆様が普段活動されている中で、上記の①～⑤の視点について、どのようにお考えか。また、今後、必要なことは何か。
- GX や DX の推進について、どのような取り組みが必要であるか。